

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	田沢湖駅前広場維持管理費				
担 当 課 係 名	都市整備 課		都市整備 係	作成者	築田 正
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	歴史と自然が織り成す交流拠点のまち			総合計画の ページ
	基本計画	公共交通の利便性の充実			
	主要施策	田沢湖駅の利便性の向上			33
予 算 費 目	一般 会計	8 款 土木費	4 項 都市計画費	2 目 街路事業費	
事 業 期 間	平成 年度 ~ 平成 年度		新規 / 継続の区分		
性 質 区 分	☐ 市民サービス ☐ 公共事業 ☒ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	田沢湖駅前広場管理運営に関する細目協定				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☐ 直 営 ☒ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	地域を訪れる観光客、通勤、通学、送迎者。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	田沢湖の玄関口にふさわしい、駅利用者に安らぎを与えられるよう広場を維持管理する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	施設の維持管理を実施する。水景施設の保守点検と修景木の冬囲い等は民間業者へ委託している。冬季間の歩道消雪。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項目	単位	18年度実績	19年度実績	年度実績
効果	活動指標	広場面積	m ²	7,500	7,500
	成果指標	駅利用者	人	356,317	349,322
投下コスト	項目	総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額
	事業費(人件費を除く)(A)		559	2,290	
	財源内訳	国庫支出金			
		県支出金			
		地方債			
		その他			
		一般財源	559	2,290	
	人件費(B)		0	242	
		職員数	0.00	0.03	
		職員平均人件費	7,853	8,071	
	(A) + (B) 投下コスト		559	2,532	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)	—	75	338	
		—			
	市民1人当たりのコスト(円)	—	18	81	

【事務事業の今までの成果】

水景施設の稼働や修景木の冬囲い等の管理は民間委託により、また芝生の維持や広場内の草取り、水景施設の清掃は職員が行なっているが良好を保っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	駅の乗降客や観光客、住民に安らいでもらうようなような維持管理。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	職員が清掃・芝生管理作業等を実施し、最低限の委託しかしていない。有効性や必要、妥当性については認められると思う。維持管理の頻度を考慮してB判定と判断した。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

樹勢の弱った修景木は撤去し消毒等の金をかけない。余分な修景木は撤去する。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	維持管理等運営方法については、民間委託を含めた検討が必要と考える。

一次評価診断図

